

BTCC 仮想通貨取引所

低スプレッド、手数料はわずか 0.03% ↓

今すぐ口座開設

- ✓ 各国のライセンスを取得
- ✓ 30+の通貨ペアを取扱う
- ✓ 7日×24時間
カスタマーサービス

- ✓ 10,000ドル付きのデモ口座
- ✓ 10~150倍の
柔軟なレバレッジ
- ✓ 法定通貨の入金に対応

Reserve Rights(リザーブライツ/RSR) について

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/markets/Reserve Rights-JPY>

Reserve Rights(RSR/リザーブライツ) は、Huobi Primeプラットフォームでの新規取引所公開 (IEO) に成功した後、2019年5月にローンチされた2つのトークンの1つで、ステーブルコインプラットフォームである。

Reserve Rights(RSR)はグローバルに利用できることを目的として開発され、業界拡大を目指している。

Reserve Rights (RSR) は Nevin Freeman氏及びMatt Elder氏によって共同創設された。Reserveプロトコルは Reserve Rights(RSR)とステーブルコイン Reserve Stablecoin (RSV) という2つのトークンあり、2019年5月にローンチされた。

Reserve Rights(RSR/リザーブライツ) の仕組み

ReserveRights(RSR)プロトコルはイーサリアム (ETH) ブロックチェーン上で誕生し、ユーザーがステーブルコインの価値を維持するための革新的な方法を実装することを目的とした。そのステーブルコイン RSVは米ドルにペッグされているため、1ドルの価値を維持する必要がある。

RSVトークンが1ドルを下回ると、Reserveプロトコルは取引所でトークンの価格を1ドルに戻すためにRSVを買い増す。目標値が1ドルを超えた場合、プロトコルは新たに鑄造されたRSVや余ったRSVをトークン化された資産やRSRと交換して販売し、ステーブルコインの価格を1ドルまで下げる。

Reserve Rights(RSR/リザーブライツ) の特徴

1. RSRトークンとRSVトークンから構成

Reserveプロトコルでは、Reserveステーブルコイン (RSV)、Reserve Rights (RSR) から構成されている。

Reserveプロトコルによれば、Reserveスマートコントラクトが保有する他の資産で、Reserveトークンであるステーブルコインの価値を裏付けることができるようにするものである。

RSRトークンを販売することによって生成された資金が、RSV担保プールを補充するために使用され、RSVが1ドルを超える場合、追加担保は流通市場からRSRを購入し焼却するのに使われ、供給を抑制

している。

2. 仮想通貨を裏付けとしたステーブルコイン

Reserveプロトコルのステーブルコインの裏付けが複数の仮想通貨であり、スマートコントラクトによって管理されていることが特徴。

ステーブルコインに裏打ちされた仮想通貨には、イーサリアム、USDコイン（[USDC](#)）、True USD（TUSD）、Paxos Standard（PAX）などがある。

3. イーサリアムブロックチェーン上に構築される

Reserve Rights(RSR)はイーサリアムブロックチェーン上に構築されたERC-20プロジェクトです。そのステーブルコインRSVは、剛性の高い過担保の伝統的なステーブルコインと、予測不能な中央集権的な既存のアルゴリズムステーブルコイン間のギャップを埋めることを目的としています。

Reserve Rights(RSR/リザーブライツ) の見通し・将来性

Reserveのウェブサイトによると、Reserve Rights(RSR) の初期生産は中央集権的に機能するとのこと。

開発チームは、ネットワークが成長するにつれて、設立チームによるコントロールが解放されるにつれて、プロトコルの一部がオンチェーンに移行すると記している。

最終的には、ネットワークは完全に非中央集権化される予定。

 [ホワイトペーパー](#)

 [公式サイト](#)